



多摩川と羽村取水堰を見にいこう！

多摩川の水は羽村で 9 割が消える？ 羽村では水を多摩川に戻すのに税金が使われている？

都民が毎日飲んでいる水道水の 1/4 は多摩川に依存しています。
その取水地点を見学して、多摩川のヒミツに迫ってみませんか。

近年、多摩川の中流部は水温が上昇し、タマガワとアマゾンの名を合成したタマゾン川と称されるようになりました。
一方、羽村取水堰（羽村堰）の多摩川の水は冷たく、水質も良好です。しかし水量となると……。
今回は、江戸時代に開削された玉川上水の源流・羽村堰などを見学し、多摩川の水問題を学習していきます。

2017年
集合時間●**10月15日(日) 12時30分** 時間厳守（小雨決行）
集合場所●**JR青梅線 羽村駅改札口前**
参加費・資料代●**200円**（レジャー保険含）

【注意事項】 昼食は集合前に済ませておいてください。

裏面に
案内図

行程 ①羽村駅そばの「まいまいず井戸」を見学後、羽村堰に向かいます。
②丸太を使った羽村堰、玉川上水・玉川兄弟像を見学後、河川敷に行き多摩川の水と触れ合います。
③その後、羽村堰下橋（人道橋）を渡り、魚道・羽村市郷土博物館（入館料無料）を見学します。
16 時ごろ、現地解散（羽村駅西口までは徒歩約 25 分）

目的 ①②③の行程で、多摩川の現状や玉川上水の歴史について学習します。多摩川は取水や下水処理場による影響が大きく、水質・水量の変化が著しい河川です。多摩川の上流部の現状を確認しながら、多摩川と水道・下水道の関係について考えていきます。

主催及び連絡先●

東京の水連絡会 山本 TEL 090-3241-5265

全水道東京水道労働組合 東京都文京区本郷 1-4-1 TEL 03-3814-3795
当日連絡先：携帯 090-3878-7095（中川）

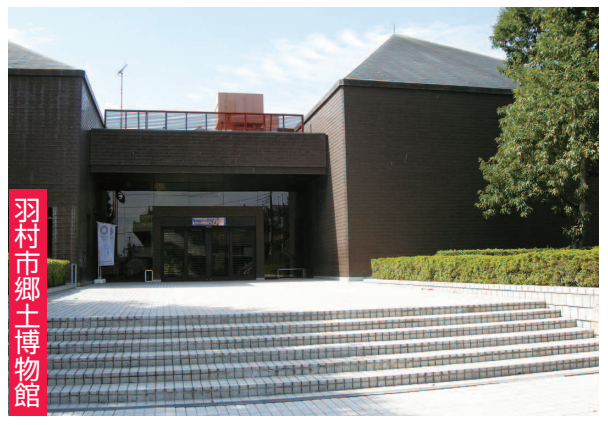
【羽村堰周辺案内図】



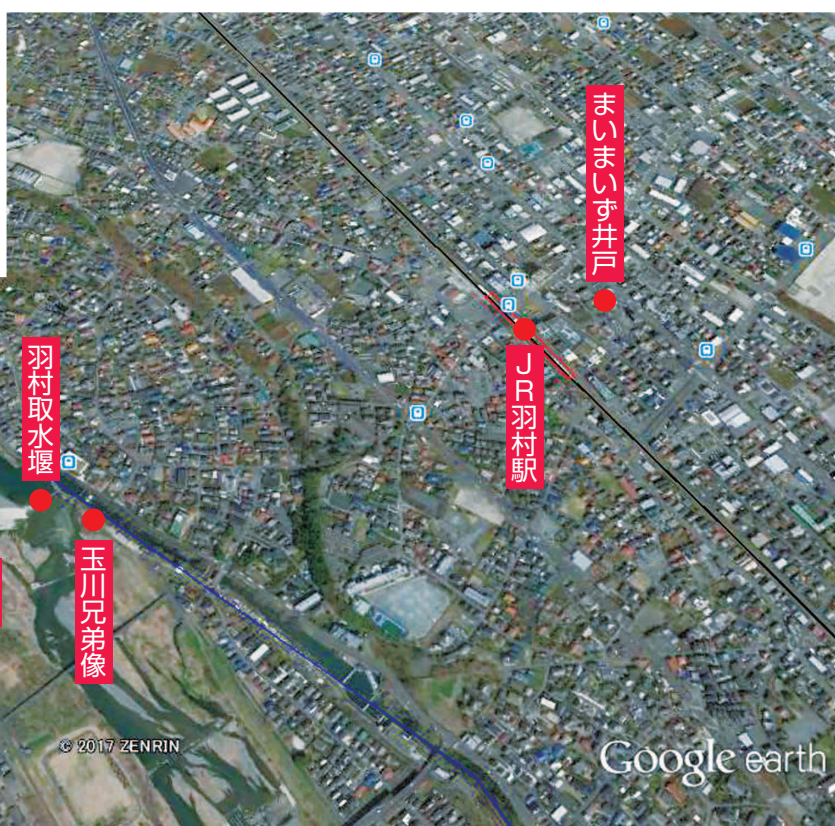
羽村取水堰



まいまいず井戸



羽村市郷土博物館



魚道

羽村取水堰

玉川兄弟像

羽村市郷土博物館

© 2017 ZENRIN

Google earth



魚道



玉川兄弟像